

# 平成 23 年度ホタテガイ採苗情報 (第 3 報)

平成 23 年 5 月 27 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



## ラーバは大型個体を主体に増加

### < 調査結果の概要 >

- ラーバは県中部と中南部で大型個体を主体に増加。
  - 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 10.4℃と、例年よりやや高め。
  - 付着稚貝数は野田沖で 173 個/袋 (15 日間)、唐丹湾では 94 個/袋 (8 日間) と増加。
  - 県中南部以北の海域では、採苗器の投入適期。
- < 陸奥湾の状況：採苗器投入を進めるよう指示 (5 月 26 日発行青森県採苗速報) >
- ラーバの出現数は全湾平均で 2,257 個/m<sup>3</sup>と、増加。
  - 試験採苗器の付着稚貝数は 84~1,536 個/袋 (7~8 日間) と、増加。

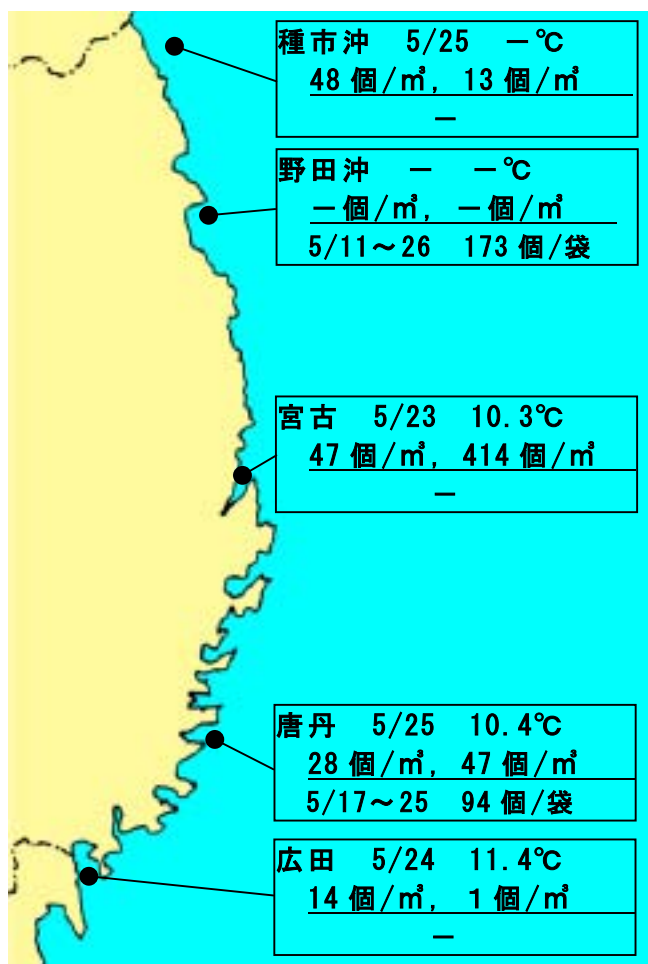


図 1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温  
ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

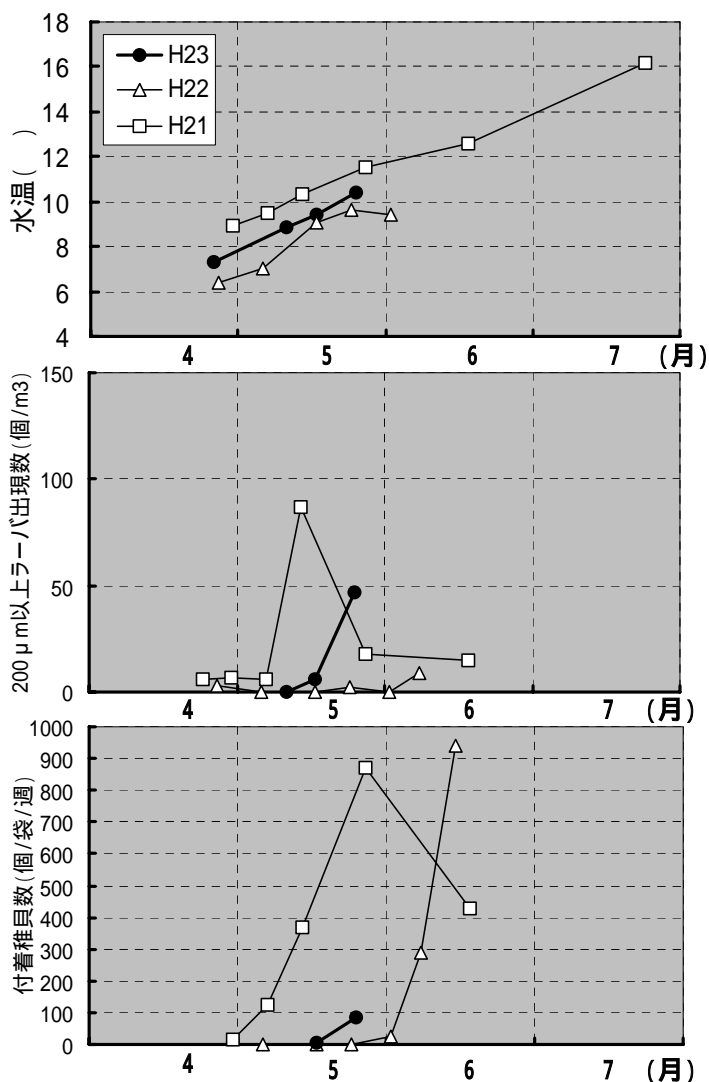


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6 月 3 日に発行する予定です。